

第23回「議員と語りかい」報告書

2班 (No.1)

開催日	平成29年 5月 9日 (火) 19時00分 ~ 20時25分		
開催場所	溝辺町玉利地区自治公民館		
団体名	玉利、石峯、麓原、陵南地区	参加人員	5人 (男 5人 : 女 0人)
出席議員	今吉 歳晴、 中村 満雄、 厚地 覺、 有村 隆志、 宮本 明彦		
役割分担	班 長 (今吉 歳晴) 副班長 (有村 隆志) 記録係 (宮本 明彦)		
テーマ及び具体的な内容	<p>市政、及び地区に関する問題点について、主には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麓第一地区土地区画整備事業について ・馬立北原線について ・国道504号について 		

意見交換での主な意見等

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
<p>◇冒頭、議会事務局へ電話質問があった点につき、班長が回答。</p> <p>麓第一地区区画整理事業について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までどういう計画でやってきたか。⇒ 空港前の住宅地として、平成5年度から開始して、平成14年度までの計画だったが、国の補助金が思うように付かなかったり、土地所有者の理解が得られなく、延び延びになっている。進捗率は95.7%。平成33年度までには事業を終了し、平成38年度までには事務手続きも完了させる予定。 ・公園は。⇒ 7か所を予定しているが、まだひとつもできていない。保留地の売却益が財源となるが、保留地が売れない。公園を造って、環境を整備することで、保留地売却を進めるよう市へは伝えている。 <p>◆23年待ってもまだ完成しない。少しずつは進んでいるが、区画の整備もできていない。お金がないと言わず、財源を見つけてほしい。(意見)</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆陵南地区は区画整理が進んでいるから羨ましい。石峯地区は、全く進んでない。馬立北原線は、平成23年に道路拡幅賛成が9割いることを市に伝えた。県道伊集院蒲生溝辺線が完成して、交通量が多くなった。まずは交通量を調べてほしい。要望として、道路拡幅のほか、ゾーン30を設定し、標識を30kmに変え、家が揺れるため大型車の通行規制を行い（ただし、お茶農家は通行可）、カラー化も進めてほしい。

◇ゾーン30や、大型車の通行規制の話があったが、これらは、県の公安委員会が担当している。交通規制関係は、実現の可能性が低いことは認識しておいていただきたい。

◆市民の代弁者として、住民の目線に立って要請してほしい。

◇平成24年度に事業採択となり、順次拡幅を進めている。平成28年度50m、平成29年度は195mの整備を予定している。平成32年度完成を目途に進めている。都市計画税、航空機燃料譲与税もあてている。ただ、燃料譲与税は、溝辺町時代の起債の償還にほとんど当てている状況だ。

◆医師会医療センターの病棟は古い。耐震性はあるのか。建て替えの予定はないのか。

◇老朽化しているのは、市も認識している。病棟の建て替えも検討している。耐震性については確認する。【耐震はあるとのことでした】

◆県道伊集院蒲生溝辺線と馬立北原線の交差点は、馬立北原線側が狭く、大型車が右左折で入りにくい。拡張の計画はあるのか。

◇土木課と現地を見ながら相談したい。【その後、土木課と協議済】

◆国道504号の4車線化はどうなっているのか。4車線化の計画もできてないのではないか。朝夕のラッシュ時に渋滞が発生する。

◇伊集院蒲生溝辺線に関し、交差点から4車線分の土地収用に関する話があったと聞いているが、その後の進展の話は聞いていない。市を通して、県に要請していく。

◆麓原地区では、都市計画税を納めることになったが、事前の説明会はなかった。議決後の説明会はあった。議会で議決する前に説明が必要ではなかったか。

◇住民説明がないなかで議案が上がることはないと思う。その当時の経緯を確認し、報告する。

◆溝辺総合支所の職員は、フットワークが非常にいい。